

池田記念美術館

イケビふれあい通信

2022 秋号

No.110

◆文化講座

池田記念美術館では文化講座を開講しています。初めてでも気軽に参加でき、趣味として楽しめるものと、種類を増やし、現在では新潟日報カルチャースクール魚沼教室をいれて7つの講座があります。書道やフラワーアレンジ、仏像彫刻、ハーモニカ、エアロヨガ、太極拳など、主に休館日の水曜日、美術館のエントランスホールが会場なので、開放的な空間で景色もよく、気持ちよく受講できると好評です。

芸術の秋、稲刈りも終わり、新しい趣味を見つかるのにいい季節。この機会に新しいジャンルを開拓してみるのはいかがですか。

10月からは新しい書道とフラワーアレンジ、エアロヨガの講座が始まります。詳しくは美術館ホームページをご覧ください。新潟日報の講座については、新潟日報カルチャースクールのホームページの魚沼教室をご覧ください。エアロヨガ講座は10月13日が初日なので、興味のある方はお早めにご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。

(広田かおり)

◆色とりどりの風ぐるま

今年の夏、第2回目となる八海山麓スキームのイベント『アクティブサンロックサマー』が開催され、イケビが公開した約3000本の風ぐるまがグレンデを華やかに彩りました。また、草むら迷路では地元の子どもたちがこども園、保育園、ワークシヨツ



8月31日、国際情報高校の生徒の協力で展示完了。感謝！

プで制作したユニークなオバケたちが草むら迷路の中に隠れて来場者を驚かせていました。

芸術の秋。「八色の森の美術展」が始まり、野外展示としてスキー場でお披露目をしたカラフルな風ぐるま約1000本を美術館のアプローチから入口まで展示しています。そこに紛れて、オバケたちも遊びに来ました。国際情報高校の有志が残暑厳しい中、ボランティアで風ぐるまを展示してくれたのですが、9月に入って台風が次々と……ひとまず、風ぐるまは撤収することになりました。

生徒さん、すみません！

今現在は、エントランスを彩りながら、ま

たの出番を待ち構えています。風ぐるまが回る音もとても清々しく心地いいです。早々に展示しますので現代アートに触れる前、触れた後に野外展示も楽しんで行ってください。しばしお待ちくださいませ。(山口加奈子)

4年ぶりの開催となった「八色の森市民まつり」に協賛し、風ぐるまを再展示しました。期間は11月6日まで予定しています。絶好の写真スポットとして大人気です。

◆災害の備えチェック

台風が接近していた三連休は、田んぼで朝早くから遅くまで稲刈りをしていました。どうか台風の被害がありませんようにと願わずにはいられませんでした。

数年前から大きな自然災害のニュースが増えました。「想定外の強い風」や「今まで経験したことのない豪雨」という気象庁の会見に恐怖を感じます。

先日、避難袋を開けて見ると、ホッカイロの数の多さに笑ってしまいました。寒い時期に準備したものです。

田舎でのんびりと暮らす私とは異なり、都会で暮らす人は心構えと緊張感が違います。東日本大震災の時に東京で帰宅困難を経験した人が、避難グッズをキャリアケースにいつぱい詰めて外出していると聞きました。毎日の出勤時と同じだそうです。そこまで用心はできませんが、せめて一年に一回は中身のチェックをしなければと思いました。

(佐藤良子)

◆秋の美術館案内

当館では10月23日まで、全国各地の現代美術の作家37人が参加して「八色の森の美術展」を開催中です。それぞれの作品には、真摯に芸術活動に対峙している作家の姿が見え

てきて、ときに大胆、ときに繊細、さまざまな技法と素材に感動します。館内には地元の小中学生や総合支援学校アートクラブのメンバーが制作した造形作品も展示してあります。この展覧会が終わると、22段階の鉛筆の濃淡を自在に操る作家として知られ、NHKの番組で何度も紹介されている木下晋氏の絵本原画展を年末まで開催します。昨年中国で出版された絵本『おばあちゃんの大晦日』の原画は世界初公開となります。日本を代表する鉛筆画家・木下氏の壮絶な人生から生まれたモノクロームの表現世界をじっくり時間をかけてご覧ください。

また、国際大学の教員として1989年に赴任し、昨年65歳で亡くなられた米国人、トム・ヘイス氏が収集したコレクション展を年末まで同時開催します。貴重なギター類、ローリング・ストーンズのギターリストで画家でもあるロン・ウッドのリトグラフ作品(クラプトンの演奏図など)、稀覯本の数々を紹介いたします。(高橋良一)



木下晋：絵本『森のパンダ』原画より

《池田記念美術館一展覧会・イベント情報》

■驚きの鉛筆画 木下晋の絵本原画展

◎会期：10月29日(土)～12月23日(金)

木下晋氏は、人間の内面世界に切り込んだ作品をモノクロームの鉛筆画で表現する作家です。最後の警女といわれた小林ハルさん、元ハンセン病患者の詩人・桜井哲夫さん、放浪癖のあった母、パーキンソン病を患う妻をモデルにした作品、月山にある注連寺の合掌図などで知られています。絵本作家としても『ハルばあちゃんの手』『はじめての旅』『森のパンダ』があり、昨年中国の出版社から新作絵本『おばあちゃんの大晦日』が出版されました。今回、絵本4冊の全原画を一堂に展示して、日本の代表的鉛筆画家の表現世界を紹介します。

【特別企画】トークショー開催決定！「木下晋の鉛筆画と絵本の世界」 画家・木下晋 × 編集者・唐亜明

◎期日：11月26日(土) ~~14時～15時30分~~ 元福音館書店編集者で『森のパンダ』の文を執筆した唐氏との対談。

15時～16時30分

■クラウドファンディング実施にあたり、ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます！

この度は、当館が初挑戦したクラウドファンディング「地域と連携する文化活動」にたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。6月6日より実施した当該事業は9月9日をもって無事に終了することができました。職員一同、心より御礼申し上げます。

今回のクラウドファンディングでは171名の方々から179万円ものご支援をいただき、当初の目標であった120万円を上回って達成することが出来ました。最終日の最後まで応援していただき、本当にありがとうございました。

スタートした時には思いもなかったほど、多くの皆様からのご支援と応援コメントをいただき、職員一同感激しております。多くのご支援はもちろんですが、この応援コメントで私たちの心がどれだけ勇気づけられたことでしょうか。この皆様のお気持ちは、私たちの宝物として、これからの活動の中で励みとなります。

いただいたご支援は子どもたちが主役の文化活動を推進するための費用として大切に使用させていただいております。

夏休み期間には、八海山麓スキー場で開催されたイベント「アクティブサンロックサマー」に協賛して、ゲレンデに3,000本の風ぐるまを設置したり、ヨシやカヤが生い茂った草むらに迷路をつくって子どもたちが制作したオバケを展示しました。

9月19日には、東京から銅版画家・佐藤未来さんを招いて、南魚沼市立総合支援学校アートクラブのメンバーと楽しいワークショップを実施しました。この時の作品は現在開催中の「八色の森の美術展」で展示中です。ぜひご覧ください。

また、10月から11月にかけて、立教大学教授の河野哲也先生においでいただき、浦佐認定こども園の園児、学童保育の低学年、地元小学校の児童を対象に、対話型美術鑑賞を媒介にした「子ども哲学対話」のワークショップを実施します。

当館は地域の人たちに愛される美術館を目指し、一歩ずつ気を引き締めて前進していく所存です。

この度の大きなご支援に改めまして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

池田記念美術館 職員一同

■【同時開催】音楽と動物と魚沼を愛したアメリカ人が好きなものだけ集めた小さな展覧会

◎会期：10月29日(土)～12月23日(金)

元国際大学の先生で2021年に亡くなられた米国人、トム・ヘイズ氏が収集したギター類、ローリング・ストーンズのギタリストで画家としても著名なロン・ウッドのリトグラフ作品、稀覯本などを展示します。

■スポーツ&ライフ南魚沼「文化教室」→詳細は美術館へお問合せください。

- 美文字講座—基本の書道(全3回) 講師：富所白象さん(書道家)
- 美文字講座—年賀状(全3回) 講師：富所白象さん(書道家)
- 秋のフラワーアレンジメント講座(全3回) 講師：馬場久美子さん(福井屋花店)
- エアロヨガ教室(全4回) 講師：高橋みゆきさん(Happy エアロビクス南魚沼)

■10月、11月、12月の休館日

【10月】

5日、12日、19日、26日(水)

【11月】

2日、9日、16日、30日(水)

※23日(水・祝)開館

※24日(木)振替休館

【12月】

7日、14日、21日(水)

※23日(金)は15時閉館

■年末年始の休館日

12月24日(土)～1月5日(木)

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐5493-3 八色の森公園内

TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9:00～17:00(入館受付は16:30まで)

【休館日】毎週水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替えによる臨時休館

【入館料】一般 500円 高校生以下無料(団体割引、各種割引あります)

【ホームページ】<http://www.ikedart.jp>

公園の中の美術館

池田記念美術館



アクセス

上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分

関越自動車道大和スマートICより車3分

六日町ICより車15分、小出ICより車10分